

## 私が町長になったら・・・。 中学生ワークショップの開催結果報告

### 若者の視点でまちづくりを考えるワークショップを開催！

未来の川越町を担う中学生の皆さんと、魅力的な川越町にするための取り組みを考えるワークショップを開催しました。

“私が町長になったら・・・。”をテーマに、町長の立場になって色々と提案してもらいました！

■日時：平成28年8月30日（火曜日）午前9：00～12：00

■会場：川越町役場3階 303会議室

■参加者：川越中学校の生徒（生徒会4名）

■プログラム

1. 開会
2. アイスブレイク～川越町自慢！～
3. ミニレクチャー
4. グループワーク
5. 町長への提案
6. まとめ



### はじめに

夏休みも残り2日となった8月30日。川越中学の2年生、3年生の4人が集まり、川越町のまちについて考える中学生ワークショップを開催しました。

開催の挨拶で城田町長から、「川越町では、誰もが笑顔で暮らせるまちづくりを進めている。将来の川越町を創っていく皆さんが、どんなまちにしたいのか、本日は町長の立場にたって、課題を解決するアイデアをいただきたい。」「皆さんからの提案を取り入れて、よりよきまちづくりを進めていきたいので、いい提案を期待している」と挨拶がありました。

### 川越町自慢！ ～好きなところ、大切にしたいところ～

最初にウォーミングアップとして、自己紹介を兼ねて、生徒から川越町自慢をしていただきました。川越町で好きなところ、大切にしたいところなどを大きな地図に落としていきました。

川越町自慢としては、「**亀須の公園**（小さい頃から高学年まで友達とよくそこで遊んでいたから。）」、「**家のまわり**（田んぼに囲まれて緑が多いから。）」、「**吉村商店**（小学生が気軽に買い物ができる。登校中に買い物をしてほしい唯一の場所だから。）」、「**あいあいホール**（川越町で唯一の図書館があり、週末に良く本を読みに行く。中学生になった今でも、テスト前は勉強スペースを良く使う）」などが出されました。その他にも、「鯉が泳ぐ水路」、「町民運動広場」、「テラ46」、「つばめ児童館」なども挙げられました。



### ミニレクチャー ～川越町の現状と将来は？～

今後の川越町のまちづくりを考えてもらうため、川越町の現状などのレクチャーを行いました。

「これまでの人口の推移や将来の予想」、「住民の転出入の状況」、「世帯や住宅の状況」、「将来の子ども的人数」、「土地利用の状況」、「住民が感じている住みやすさや不安に感じていること」、「まちづくりに期待していること」などを、グラフなどを使って説明しました。



## 私が町長になったら・・・○○な町にするために○○を行います！

まず、各自で「私が町長になったら・・・。」ということで、①川越町の問題点、②こんな町にしたいというまちのイメージ、③取り組みアイデアを考えていただきました。

①川越町の問題点	②川越町をこんな町にしたい！	③取り組みアイデア
・北地区と南地区の店の数	・今よりも充実した生活ができる町	・北地区は南地区に比べて田んぼが多く、お店の数が少ない。また私の住んでいる亀須地区は子どもよりもお年寄りの数がとても多く、近くにスーパーがないので、車が無いと不便です。そのため町内を運行しているバスの本数を多くしたり、バス停を増やすことで買い物に行ける回数が増えると思います。
・津波対策や地震対策に不満を持っている人が多い	・安全で誰もが暮らしやすい町にしたい！	・町民全員がどこに避難したら良いのかを把握している訳ではないと思うので、再度確認して、もしこの先、地震や津波が起こったとしても、素早く避難できるようにしたい。
・災害に対応する	・災害が起きた時に対応できる町	・常に災害を意識して、津波が起きた時の対応やどこに逃げればいいのかなどを前から話し合っておき、被害を少しでも少なくする。
・自然災害（津波）	・動物にやさしい町、水がきれい、緑が多い、空気がきれいで住みやすい町	・ごみのポイ捨てをしない。ごみ箱を置いてほしい。
・ごみが多い（国道1号沿い）	・ごみの無いきれいな町	・ポスターを貼って啓発する。ごみ拾いをボランティアです。ごみ箱を設置する。一人ひとりが意識してポイ捨てをしない。
・少し無名だと思う	・少しでも有名に！	・川越町と言えば「これ！」と言うものを増やす。正直、川越町は発電所のイメージばかりなので、川越町でしか作れないようなものを作る！！（中電の温水プール、早川酒造・・・）
・遊ぶところが少ない	・健康な町	・公園にゴール（サッカー、バスケット等）の設置。川遊び
・平均学力が低い	・学習環境が充実した町	・授業内容がわからない人に先生が付いて丁寧に教えることを続け、もっと上を目指している人には発展した問題をするよう教師に呼びかける。特に小学校ではきちんと基礎（算数）を身に付ける。

その後、みんなで話し合い、「川越町の問題点」、「理想の町のイメージ」、「具体的な取り組み」をまとめる作業を行いました。



みんなで考えた川越町の問題点

- 店が少ない！ ●街灯が少ない！ ●津波への不安！ ●ゴミが多い！
- 農地・自然が減少 ●川越町を有名に！ ●学力が低い！
- 遊び場が少ない！



理想の川越町のイメージ ~キャッチフレーズ

笑顔咲く美しいまち

【具体的な取り組み】

◆街灯を増やす。

- ・国道1号線沿いは店や街灯が沢山あって明るけれど、1号線から外れると暗く、夜に通ると危ないので、街灯を増やして明るくしたい！

⇒豊田一色、役場周辺の道路など

◆サッカーゴール、バスケットゴールの設置

⇒北部公園、北福崎子ども広場に！

◆災害への意識を高める

⇒家族で話し合い、避難場所を決める

◆ごみのポイ捨てをしない

⇒ごみは持ち帰る、ごみ箱の設置

◆いきいきバスの運行

- ・お店が多い南地区に比べて北地区は田んぼが多い！
- ・車がないと買い物に行きにくい！
- ・お年寄りが多い！

⇒いきいきバスの運行本数を増やす！

(1時間に3~4本)

⇒バス停を増やす！

(車に乗ることができないお年寄りの家の近く！公園、公民館に！)

⇒バスを待っている間に座れるベンチを置く！

◆授業内容がわからない人には教師が付いて丁寧に教える！

◆上を目指している人にはもっと発展した問題をやる。

◆やる気のある人が集中して取り組めるような授業の雰囲気を作る。

◆小学校で基礎をきちんと身に付ける！

⇒以上のことを教師に直接呼びかける。

【協力いただいた生徒の皆さん】

作本 美夢さん(3年生)、浦島 由梨乃さん(3年生)、田中 歩実さん(3年生)、作本 周弥さん(2年生)



町長への提案！

生徒たちで作った「私が町長になったら〇〇な町にするために〇〇を行います！」を町長、副町長、教育長、企画情報課長、学校教育課長、川越中学校長の前で発表しました！

その生徒からの提案に対して、町長からは、「問題として取り上げられた8つの問題点はしっかり今後のまちづくりに反映していきたい」、「笑顔咲く美しいまちのキャッチフレーズはすばらしい！」、「まちづくりの取り組みは、生徒の皆さんと一緒に協力して取り組んでいきたい！」とコメントがありました！

また、副町長からは、「これからも川越町に長く住み続けてもらうため、もっと川越町のことを知り、好きになってもらい、そして町の自慢、PRを行ってもらい、川越町に住みたいと思う人が増えるように、また自慢できる町になるように一緒に協力してまちづくりを進めていきたい！」とコメントがありました。

教育長からは、「これまでは生徒会として学校を良くしようと取り組んできたが、学校内だけでなく、町全体、まちに対して今日はすばらしい提案できたと思う。いただいた提案をもとに町がもっと良くなるように取り組んでいきたい。特に学力向上については学校へも伝え、引き続き取り組んでいきたい！」とコメントがありました。

校長先生からは、「生徒達にまちを考える機会を与えていただき、ありがとうございます。生徒も町民の一員としてまちづくりに取り組んでいけるようにご支援をよろしくお願いしたい！」とコメントがありました。

また、生徒からは、「中学生ならではの意見が言え、いい経験になった！」、「川越について深く話し合ったが、はじめての経験でいい機会になった！」、「川越について考えることがこれまで無かったが、いい経験になり、川越町のことが良く分かった。長く川越町に住みたいと思った！」、「遊び場が少なく、サッカーやバスケの好きな人が増えるように、話し合ったことをみんなにも伝えていきたい！」と感想が述べられました。

最後に全員で集合写真を撮って終了となりました。

